

グローバル化の最前線で働く人々を支援する！

～海外で／海外と連携して活動できる臨床心理士になるための第一歩～

「心理バブル」も終わり、社会に心理職が飽和している今、我々は臨床心理士の雇用を広げる可能性を少しでも模索しなければいけません。今回はそのために極限まで視野を広げてみましょう。そう、海外です。ビジネスのグローバル化に伴い、日本人が海外で働く機会は増えています。こうした海外勤務者やその家族を、国内から、あるいは現地で支援する——まだまだ実践例の少ない活動です。

本研修では、在タイ日本国大使館の一等書記官兼医務官で当会会員でもいらっしゃる吉田常孝先生に、臨床心理士が海外で働くということについてご講義いただいた上で、海外駐在員支援に携わっている話題提供者と共に活動の可能性を探ります。

日時	2016年2月7日(日) 10:00～16:35
	※9:30より受付を行います。 ※昼食は各自でご手配ください。
会場	つるやホール第二ビル4階会議室 〒541-0053 大阪府中央区本町3-3-5
対象者	臨床心理士 臨床心理学を学ぶ大学院生、臨床心理士資格取得見込み者 (会員からの推薦が必要) ※申込者数によって有資格者以外の方のご参加をお断りする場合があります。
参加費	大阪府臨床心理士会員 3000円 その他 4000円
定員	68名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

内容・スケジュール

- 10:00-10:10 オープニング
- 10:10-12:10 I部 講義 「在外邦人のメンタルヘルスの実情と課題」
講師：吉田常孝先生（在タイ日本国大使館 一等書記官兼医務官）
- 13:10-14:40 II部 ワーク 「在外邦人メンタルヘルス支援疑似体験」
講師：吉田常孝先生（在タイ日本国大使館 一等書記官兼医務官）
- 14:55-16:25 III部 パネルディスカッション 「海外駐在者の支援」
話題提供者：田中健吾先生（大阪経済大学 経営学部 教授）
話題提供者：坊隆史先生（株式会社島津製作所 人事部 健康・安全センター 臨床心理士）
指定討論者：吉田常孝先生（在タイ日本国大使館 一等書記官兼医務官）
- 16:25-16:30 大阪府臨床心理士会 産業部会代表 挨拶、研修修了証の配布

お申込み方法

1. 以下の要領で、事務局まで電子メールをお送りください。

宛先：ic.osk.sccp@gmail.com

件名：「産業部会第10回研修会 参加希望」

本文：①氏名、②所属、③職名／役職、④電話番号、⑤メールアドレス、

⑥臨床心理士登録番号、⑦所属の都道府県臨床心理士会名

※締め切り：2016年1月24日（日）中にお送りいただいたメールまで受け付けます。

2. メール送信後、事務局よりご返信します。

3. 返信ご確認後、1週間以内に参加費を下記口座にお振込みください。メールとお振込みの両方が確認できた方から順次受付完了となりますので、ご注意ください

振込口座：ゆうちょ銀行（記号）14330 （番号）16176881 （名義）大阪府臨床心理士会産業部会

他行からのお振込みの場合は、（店名）四三八〔ヨンサンハチ〕（店番）438 普通預金 1617688

※手数料は各自ご負担ください。また、お振込み後は、申込者の都合による参加費のご返金はできませんので、予めご了承ください。

※振込確認の連絡は致しません。振込明細証を参加証としますので、当日必ずご持参ください。

※本研修は、日本臨床心理士資格認定協会の研修ポイントの申請を予定しています。また、取得した個人情報は、適切に管理し、研修ポイント申請及び当部会からの研修会情報のご案内に利用させていただきます。

お問い合わせ先

大阪府臨床心理士会産業部会 事務局（担当：高原）：ic.osk.sccp@gmail.com

会場へのアクセス



・大阪市営地下鉄 御堂筋線・中央線 本町駅下車 7番出口すぐ

※つるやホール本館の南側の建物、「PIZZERIA&BAR LOGiC」横が入口です（2015年7月現在）。